

	No.	評価項目	評価内容	学校経営目標(具体的な方策)	
				中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)
信頼される教育の確立	1	学校の組織力と学校運営	校長が精度の高い地図と羅針盤をもって明確な経営方針を示し、全職員が経営参画できる同僚性と協働性を高める。	職責に付加価値を付けて遂行する組織を構築する。	具体的な施策と目標を明示経営・企画会議を組織的に運用
	2	安全管理危機管理	児童の安全安心を全てに優先させ、命を守るために、危険予知・未然防止の徹底等、安全管理・危機管理を徹底する。	常に最悪の状態を想定して未然防止、初期対応を期す。	防災・危機対応マニュアルを周知看護当番体制の構築・徹底
	3	学校公開情報発信	学校行事や学校公開日などの機会を多く設けるとともに、学校方針や活動状況など、有用な情報を積極的に伝える。	内容・方法・形態等を工夫して多彩に公開・発信する。	学校HPや校長通信等を充実感染防止を施した公開の工夫
	4	カリキュラムマネジメント	教育目標達成のため、教科横断的に各教科等の教育内容を相互に関連付け、配列し、教育課程全体と往還させる。	育てたい子供像を明確にし、教育課程全体を関連付ける。	教科等を関連付けた指導計画総合的な学習の時間の見直し
	5	学校・家庭・地域の連携協働	教育活動に必要な人的・物的資源を、地域等の外部の資源も含めて活用しながら効果的に組み合わせる。	地域の教育力・教育資源を効果的に教育課程に組み込む。	地域等の人材の積極的活用地域等が参画する授業を増加
	6	共にある教育の実現	学校・保護者・地域が互いに当事者となり、未来の学校の姿を見据えて共通の目標を共有し、教育課程を編成する。	未来の守護者を育てる教育課程を地域とともに作る。	学校関係者評価の再構築評価結果を踏まえた教育課程
	7	働き方改革の徹底	全職員が、働き方改革の意義を理解し、野球型からサッカー型の職務行動へと変革し、個が自律した組織とする。	働き方改革推進プランを策定し、教育の質を向上させる。	残業時間毎月45時間以内週1回の定時退勤日の実行
	8	ワンチームでビジョンを共有	通常級、専科、さくら学級、きこえとことば、大空教室、事務職員等、すべてが同一のビジョンを共有する組織とする。	内に開かれた教育を実現し、ワンチームで運営する。	学校経営方針を全職員で共有全職員の役割を明確化する
確かな学力の定着	9	基礎的・基本的な学習の定着	授業改善推進プランに基づき、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を目指し、指導方法の工夫改善に努める。	学力の把握・検証に基づき授業改善を推進する。	各教科等で「書くこと」を重視板書や発問する技術の向上
	10	学びに向かう姿勢の向上	新たな価値を創造する「学ぶ意味」を理解させ、答えのない課題に最善解を導くことができる資質能力を育成する	他者と協働し学び合い、学ぶ楽しさ、学びに向かう姿勢の向上	効果的効率的な指導の工夫分かる楽しさ・できる喜びを実感
	11	学習習慣・学習規律の定着	補習教室で「学ぶ意欲」「学ぶ力」「学び続ける力」を育成するとともに、家庭学習を支援し、学習の習慣化を図る。	「学びのすすめ」「家庭学習の進め方」を推進する。	授業・補習と家庭学習の一体化宿題に確実に取り組む工夫
	12	外部人材ICT活用	各教科等で外部人材やICTを効果的に活用し、児童の興味・関心を高め、自ら学ぶ力や学び合い、教え合う力を付ける。	授業そのものを改革することにより学力を向上させる。	外部人材を有効活用した授業授業でICTを効果的に活用
	13	ユニバーサルデザイン	ユニバーサル・デザインによる分かりやすい授業、やさしい授業、個に応じた指導の工夫に努め、適切な支援を行う。	児童にやさしい教室環境、学習環境、授業を実現。	児童にやさしい授業を実践特別支援教室等との連携
豊かな心の醸成	14	社会性の向上	認知、感情統制、対人スキルを養い、やり抜く力、辛抱する力を育成し、自他ともに敬意をもって関係する力を付ける。	自他ともに大切にできる豊かな心情を育成する。	認知機能や感情統制の支援やりぬく力、辛抱する力の育成
	15	自己有用感の醸成	学校・家庭・地域で、児童一人一人が「かけがえのない存在として大切にされている」と実感する自己有用感を高める。	自己有用感を高め、児童が個々のよさを発揮できる。	QUを踏まえた特別活動の充実豊かな自己表現力を醸成
	16	心の居場所づくり	一人一人の居場所がある学校作り、児童の心に寄り添う相談を心掛け、一人で悩みを抱えない雰囲気を作る。	様々な人と関わりをもち、悩みを話せるようにする。	全教員による個の支援・相談SOSを出せる雰囲気醸成
	17	特別支援教育の推進	教師自らの人権感覚の意識を高め、自他を大切に、偏見や差別を許さない豊かな人権感覚を磨く教育を行う。	校内委員会を中心に共通理解の元、一人を全員で支援	特支リーフレットによる啓蒙校内委員会の定例化、活用
健やかな体の育成	18	基本的な生活食習慣の定着	系統性を重視した意図的・計画的な健康と食に関する学習を推進し、児童が主体的に心身の健康の保持増進を図る。	健康教育・食育推進計画を改善、充実、徹底させる。	グッドモーニング 60分の徹底バランスのある食事で健康作り
	19	体力・運動能力の向上	体育の授業改善、日常的な運動習慣の定着により、生涯に渡って積極的に運動に親しむ資質や能力を高める。	体力調査結果を検証・活用し、体育授業を改善する。	元気アップガイドブックの活用運動習慣に結びつく授業の工夫
	20	オリ・パラ教育の推進	日本人としての自覚と誇りを持ち、自ら学び行動できる国際感覚を備え、多様性を尊重し、共生・共助社会の実現を目指す。	5つの資質育成に重点を置いてオリパラ教育を推進する。	発達段階に応じた4×4の取組オリパラ精神の理解・醸成
	21	健康管理保健衛生	すべての子供たちが「一人にひとつの命」を自覚し、かけがえのない命を自ら守ろうとする意識と行動力を育成する。	すべての教育活動を通して全職員が健康管理に携わる。	感染症拡大防止行動の徹底熱中症防止やアレルギー対応
輝く未来に向かって	21	課題解決・探究的な学びの充実	習得・活用・探究という学習プロセスの中で、問題発見・解決を念頭に置いた深い学びの過程を実現させる。	児童が自らから課題を発見し、社会や世界と向き合う。	総合的な学習の全面的見直し探究活動に重点を置いた指導
	22	主体的対話的で深い学びの推進	他者との協働や外界との相互作用を通じて、自らの考えを広げ深める、主体的に対話的な学びの過程を実現させる。	児童が自らの学習を振り返り、主体的に学び続ける。	全教育課程で言語活動を充実自らの考えを表現する力を育成
	23	地域の学校としての役割遂行	社会の創り手に必要な資質・能力の明確化し、児童が未来に向き合い主体的に関わっていく多彩な学びを展開する。	地域の中の学校としての役割を積極的に遂行する。	応援の手紙で地域に目を向ける家庭や地域と協働して取り組む
	25	未来を創造する学校図書館	各教科等で、学校図書館の機能を計画的に利活用し、児童の主体的・意欲的な学習活動や読書活動を充実する。	すべての教職員が図書館機能を有効に活用する。	学校図書館スーパーバイザーと学校図書館活用を改革する